群馬県営田代湯尻土地改良事業計画書

（農業用道路・農業用用排水・区画整理）

第一回変更

群　馬　県

目　　次

第１章　目　的 …… 1
第２章　地域及び地積 …… 1
　第１節　地　域 …… 1
　第２節　地　積 …… 1
第３章　現　況 …… 2
　第１節　気　象 …… 2
　　１．一般気象 …… 2
　　２．特殊気象 …… 3
　第２節　土地状況 …… 4
　　１．地形、土壌及び侵食の程度 …… 4
　　２．土地分類 …… 5
　　３．土地利用の状況 …… 5
　　４．土地所有の状況 …… 6
　第３節　水利状況 …… 6
　　１．用水状況 …… 6
　　２．排水状況 …… 7
　　３．河川状況 …… 8
　第４節　道路現況 …… 9
　　１．道路概況 …… 9
　　２．主要道路一覧表 …… 10
　第５節　地域農業の概況 …… 11
　　１．産業別就業人口 …… 11
　　２．経営農地広狭別農家数及び農地の分散状況
　　並びに専兼業別農家数 …… 12
　　３．動力農機具及び主要家畜頭数 …… 13
　　４．主要作物作付状況 …… 14
　　５．農業の動向 …… 15
　第６節　地域環境の概況 …… 16
第４章　一般計画 …… 17
　第１節　事業計画の要旨 …… 17
　　１．要　旨 …… 17
　　２．事業別面積 …… 17
　第２節　営農計画及び土地利用計画 …… 18
　　１．営農計画の概要 …… 18
　　２．土地利用区分 …… 18
　　３．作付方式 …… 19
　　４．生産計画 …… 20
　　５．労働改善計画 …… 21
　　６．級地別土地利用区分 …… 21
　　７．土地配分計画 …… 21
　第３節　用水計画 …… 21
　　１．計画基準年 …… 21
　　２．計画かんがい方式 …… 21
　　３．計画用水系統 …… 21
　　４．計画用水量 …… 21
　　５．水源計画 …… 21
　第４節　排水計画 …… 22
　　１．計画基準雨量 …… 22
　　２．計画排水方式 …… 22
　　３．計画排水系統 …… 23
　　４．計画排水量 …… 24
　　５．排水対策 …… 24
　　６．たん水検討 …… 25
　第５節　道路計画 …… 25
　　１．道路及び索道 …… 25
　　２．路線配置図 …… 26
　第６節　農用地造成計画 …… 27
　第７節　洪水調節計画 …… 27
　第８節　干拓計画 …… 27
　第９節　農用地整備計画 …… 27
　　１．区画整理 …… 27
　　２．暗渠排水 …… 28
　　３．客　土 …… 28
　　４．農地保全 …… 28
　第１０節　老朽ため池改修施設 …… 28

第５章　主要工事計画 …… 28
第１節　用水施設 …… 28
１．貯水池 …… 28
２．頭首工 …… 28
３．揚水機 …… 28
４．用水路 …… 28
５．その他かんがい施設 …… 28
第２節　排水施設 …… 29
１．排水水門 …… 29
２．排水機 …… 29
３．排水路 …… 29
４．その他排水施設 …… 29
第３節　道路及び索道 …… 30
１．道　路 …… 30
２．索　道 …… 30
第４節　農用地造成 …… 31
第５節　洪水調節施設 …… 31
第６節　干拓施設 …… 31
第７節　農用地整備施設 …… 31
１．区画整理 …… 31
２．暗渠排水 …… 31
３．客　土 …… 31
４．除　礫 …… 31
５．農地保全 …… 32
第８節　老朽ため池改修施設 …… 32
第６章　付帯工事計画 …… 32
第７章　工事の着手及び完了の予定時期 …… 32
第８章　環境との調和についての配慮 …… 33
第１節　環境との調和への配慮の方針 …… 33
第２節　環境との調和への配慮に伴う配慮内容 …… 33
第９章　換地計画の概要 …… 34
第１節　換地計画を作成する上での基本的な考え方 …… 34
第２節　換地区の設定 …… 34
１．換地区の名称、所在、地積 …… 34
２．換地区を設定しない理由 …… 34
第３節　換地計画樹立の基本方針 …… 34
１．従前の土地の地積の基準 …… 34
２．用途別予定地積 …… 35
３．農用地集団化の方針 …… 36
４．非農用地換地の方法 …… 36
５．創設土地改良施設用地換地の方法 …… 36
第４節　土地の評価及び清算の方法 …… 36
１．評価の方法 …… 36
２．清算の方法 …… 36
第５節　換地計画樹立の年度計画 …… 37
第６節　換地処分の時期に関する特例 …… 37
第１０章　事業費の総額及び内訳 …… 38
第１１章　効　用 …… 39
第１２章　関連する事業 …… 40
第１３章　現況・計画図面 …… 40
１．現況平面図
２．計画平面図及び土地利用計画図
３．主要構造図

第１章　目　的

本地域は、群馬県嬬恋村西北部の標高１２００ｍ前後に位置する畑地農業地帯で、夏秋キャベツを経営の柱として農業が発展している地域である。しかし、道路は狭小であり、営農効率の低下や農産物の輸送に支障を来している。また、排水路は未整備であり、堆砂による排水機能の低下や、流下能力を超える排水により農地等への溢水被害が発生している。

このため、農道や排水施設などの総合的な生産基盤条件の改善による生産性向上と担い手農家の安定経営及び農地集積を支援し、地域農業の振興を図る。

なお、農業用道路、農業用用排水事業及び区画整理事業は、法に定める要件に適合するため一体事業として施行する。

第２章　地域及び地積

第１節　地　域

（第1表）

事　業　名	地　域
農業用道路	群馬県　吾妻郡　嬬恋村　大字田代
農業用用排水	〃
区画整理	〃

第２節　地　積

（第2表）

事　業　名	現況地目／市町村名	田 (ha)	畑 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備　考
農業用道路	嬬恋村	－	31.1	－	－	－	31.1	登記簿面積による
農業用用排水	〃	－	31.1	－	－	－	31.1	登記簿面積による
区画整理	〃	－	6.5	0.0	－	0.2	6.7	登記簿面積による
計		－	31.1	0.0	－	0.2	31.3	

第３章　現　況

本地区は、群馬県の西北部に位置する嬬恋村の南東地域にある畑地農業地帯であり、東西に流れる吾妻川の右岸、標高1190～1275mの北面向きの地帯で、北側には国道144号線があり、地区の農産物、生産資材の輸送路となっている。地区沿いにパノラマライン、東、西、南と山林に囲まれた一体的な農地である。

地区における所有および営農体系は主に田代の集落関係者により耕作されている。主要な作物は、S41に産地指定された夏秋キャベツを経営の柱として地域農業が発展して、首都圏や京阪神方面を中心に供給をしており、全国的にも一大産地として名声を博している。

また、専業農家、第一種兼業農家の比率が高く3,400haの畑地帯を耕作している。農産物の運搬は村を走る国道144号が主経路である。

第１節　気象

１．一般気象

(第3表-1)

観測所名	田　代	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備　　考
観測期間	S.53年～R.5年	6月～9月	10月～5月		
平均気温　(℃)		16.0 ℃	1.1 ℃	7.3 ℃	
降 水 量	平　均 (mm)	901.1 mm	562.4 mm	1463.5 mm	
	基準年 (mm)				
降水日数	平　均 (日)	71 日	61 日	132 日	
	基準年 (日)	日	日	日	
根　　雪　　期　　間					
無　　霜　　期　　間		3 月 28 日 ～ 11 月 22 日 (239 日 間)			平成3年～令和5年　前橋観測値平均
最　　多　　風　　向		南西	最大風速 (風向)	15.0 m/s (NW)	

２．特殊気象

(第3表-2)

観測所名 田　代	第１位		第２位		第３位		第４位		第５位		備　考
観測期間 S.53年～R.5年	数　量 (年月日)	発生 確率	数　量 (年月日)	発生 確率	数　量 (年月日)	発生 確率	数　量 (年月日)	発生 確率	数　量 (年月日)	発生 確率	
最大日雨量 (mm)	408.0 R1.10.12		223.0 H19.9.6		188.0 S57.9.12		185.0 H11.8.14		171.0 H10.8.14		
最大時間雨量 (mm)	53.5 H25.9.16		45.0 R1.10.12		42.0 H19.9.6		40.5 H28.8.3		39 H15.8.5		
最大連続雨量 (mm)	425.5 R1.10.11 ～R1.10.12		323.0 H19.9.6 ～H19.9.7		266.0 H13.9.9 ～H13.9.11		254.0 H11.9.14 ～H11.9.23		206.0 S57.9.11 ～S57.9.12		
最大連続干天日数　(日)	29 H9.10.13 ～H9.11.12		24 H11.12.10 ～H12.1.2		21 H7.7.23 ～H7.8.12		21 H10.12.25 ～H11.1.14		21 S61.1.25 ～S61.2.14		

第２節　土地状況

１．地形，土壌及び侵食の程度

(第4表-1-1)

事業名	地目	田						畑・その他						受益地標高(m)		備考
	傾斜区分	1/1000以下	1/1000～1/100	1/100～1/20	1/20～1/11.5	1/11.5以上	計	3°以下	3°～8°	8°～15°	15°～20°	20°以上	計	最高	最低	
道路 農業用	面積(ha)	－	－	－	－	－	－	－	31.1	－	－	－	31.1	1,275	1,190	平均傾斜1/14
	比率(%)	－	－	－	－	－	－	－	100	－	－	－	100			
排水路 農業用	面積(ha)	－	－	－	－	－	－	－	31.1	－	－	－	31.1	1,275	1,190	平均傾斜1/14
	比率(%)	－	－	－	－	－	－	－	100	－	－	－	100			
整理 区画	面積(ha)	－	－	－	－	－	－	－	6.5	－	－	－	6.5	1,236	1,201	平均傾斜1/14
	比率(%)	－	－	－	－	－	－	－	100	－	－	－	100			
合計	面積(ha)	－	－	－	－	－	－	－	31.1	－	－	－	31.1	1,275	1,190	
	比率(%)	－	－	－	－	－	－	－	100	－	－	－	100			

(第4表-1-2)

項目 / 土壌統(区)名	土壌統(区)区分一覧表										面積(ha)			備考
	土壌断面								堆積様式	母材	現況	計画	地目	
	色	腐植	礫層	酸化沈殿物	土性 表土 一層	土性 下層土 二層	土性 下層土 三層	泥炭層 黒泥層 グライ層						
仁田沢統	黒色	富む	なし	なし	壌質(SCL)	壌質(FSL)	なし	―	風積(火山性)	非固結火成岩	31.1	30.1	畑	
計											31.1	30.1		

2．土地分類

該当なし

3．土地利用の状況

（令和6年10月現在）　（第4表-3）

事業名	土地利用別／市町村名	農地						山林		採草放牧地 (ha)	原野 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	桑畑 (ha)	その他樹園地 (ha)	用材林 (ha)	薪炭林 (ha)					
農業用道路	嬬恋村	—	31.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	31.1	
農業用用排水	〃	—	31.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〃	
区画整理	〃	—	6.5	—	—	—	—	—	—	—	0.0	0.2	6.7	
合計		—	31.1	—	—	—	—	—	—	—	0.0	0.2	31.3	

4．土地所有の状況

（令和3年11月現在）　（第4表-4）

事業名	所有者／区分	個人有	市町村有	県有	国有		計	備考
農業用道路	面積(ha)	31.1	—	—	—		31.1	
	関係戸数(戸)	38	—	—	—		38	
	筆数(筆)	58	—	—	—		58	
	権利関係	所有権					所有権	
	備考							
農業用用排水	面積(ha)	31.1	—	—	—		31.1	
	関係戸数(戸)	38	—	—	—		38	
	筆数(筆)	58	—	—	—		58	
	権利関係	所有権					所有権	
	備考							
区画整理	面積(ha)	6.5	0.2	—	—		6.7	
	関係戸数(戸)	9	—	—	—		9	
	筆数(筆)	13	5	—	—		18	
	権利関係	所有権	同左				所有権	
	備考							
合計	面積(ha)	31.1	—	—	—		31.1	
	関係戸数(戸)	38	—	—	—		38	
	筆数(筆)	58	—	—	—		58	
	権利関係	所有権					所有権	
	備考							

第３節　水利状況

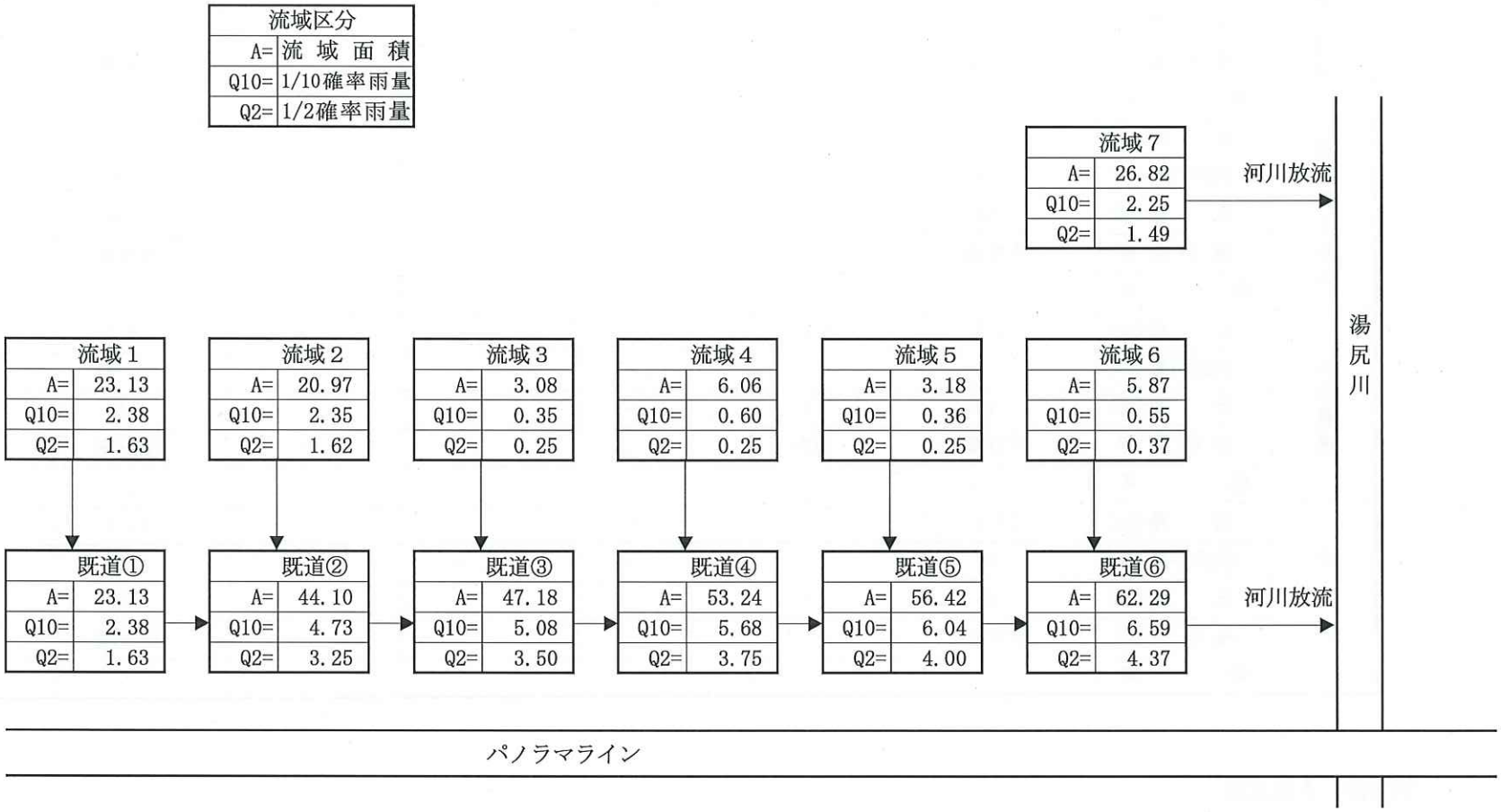
１．用水状況

該当なし

2．排水状況

(1)　排水系統

現況排水系統模式図



(2)　排水施設

(ｱ)　排水方法一覧表

(第5表-4)

施設名 ＼ 項目		排水面積 500ha以上 箇所	500ha以上 ha	500～100ha 箇所	500～100ha ha	100ha以下 箇所	100ha以下 ha	計 箇所	計 ha	排水慣行 (m^3/s)	現況排水能力 (m^3/s)	備　考
自然	排水路					1	27.04	1	27.04	―	4.343	流域７
	水　門											
機械	排水機											
	水門及び排水機											
	排水路及び排水機											
合　計						1	27.04	1	27.04	―	4.343	

(ｲ)　改修を要する施設の一覧表

該当なし

(3)　排水に関する被害状況

該当なし

３．河川状況

該当なし

第４節　道路現況

１．道路概況

現況道路路線図

２．主要道路一覧表

（第6表）

No	路　線　名	管理区分別	延長(m)	幅員(m)		構　　造	改修の要否	備　　考
				全幅	有効			
R-1	湯尻　1050	嬬恋村	1,621.5	3.4	2.9	As	要	
R-2	その他道路1	〃	234.6	2.6	2.6	As	無	
R-3	その他道路2	〃	110.7	3.4	3.4	G	要	
R-4	その他道路3	〃	229.2	2.9	2.9	G	〃	
R-5	その他道路4	〃	147.0	4.9	4.4	G	〃	
R-6	その他道路5	〃	44.7	2.0	2.0	G	無	
R-7	その他道路6	〃	111.6	2.2	2.2	G	〃	
R-8	その他道路7	〃	145.1	2.9	2.9	G	〃	
R-9	その他道路8	〃	145.3	2.4	2.4	G	要	
R-10	その他道路9	〃	111.7	3.0	3.0	G	〃	
R-11	その他道路10	〃	158.0	2.4	2.4	G	無	
R-12	その他道路11	〃	59.5	2.1	2.1	G	〃	
R-13	その他道路12	〃	40.5	2.9	2.9	G	〃	
R-14	その他道路13	〃	87.8	2.9	2.9	G	〃	
R-15	その他道路14	〃	88.9	3.0	3.0	G	要	
R-16	その他道路15	〃	192.4	3.0	3.0	G	〃	
R-17	その他道路16	〃	54.6	3.0	3.0	G	〃	
R-18	その他道路17	〃	88.5	2.9	2.9	G	〃	
R-19	その他道路18	〃	75.9	2.9	2.9	G	〃	
R-20	その他道路19	〃	111.6	2.1	2.1	G	〃	
R-21	その他道路20	〃	240.2	2.0	2.0	G	〃	
R-22	その他道路21	〃	181.2	2.8	2.8	As	無	

第５節　地域農業の概況

本地域は群馬県の西北部の嬬恋村に位置する農山村地帯で、村を東西に流れる吾妻川右岸の標高は1190～1275ｍ前後の地形で平均気温7.3℃、年平均降水量1464㎜の中山間農業地帯である。

主要な作物は、S41に産地指定された夏秋キャベツを経営の柱として地域農業が発展して、首都圏や京阪神方面を中心に供給をしており、全国的にも一大産地として名声を博している。

また、専業農家、第一種兼業農家の比率が高く3,400haの畑地帯を耕作している。

農産物の運搬は村を走る国道144号が主経路である。

１．産業別就業人口

（令和6年10月現在）　（資料：令和2年国勢調査）　（第7表-1）

項目＼市町村名	総数（人）	農業（人）	林業（人）	漁業（人）	鉱業（人）	建設業（人）	製造業（人）	電気ガス熱供給水道業（人）	運輸通信業（人）	卸売小売業飲食店（人）	金融保険業（人）	不動産業（人）	サービス業（人）	公務（人）	その他（人）	備考
嬬恋村	5,068	1,603	18	6	8	401	134	18	214	426	31	106	1,889	158	56	
計	5,068	1,603	18	6	8	401	134	18	214	426	31	106	1,889	158	56	
比率(%)	100.0	31.6	0.4	0.1	0.2	7.9	2.6	0.4	4.2	8.4	0.6	2.1	37.3	3.1	1.1	

2．経営農地広狭別経営体数及び農地の分散状況並びに専兼業別農家数　（令和6年10月現在）　（資料：2020年農林業センサス）　（第7表-2-1）

区分 / 市町村名	農家総戸数（戸）	経営農地広狭別経営体数（経営体）										
		0.3ha未満	0.3～0.5	0.5～1.0	1.0～1.5	1.5～2.0	2.0～3.0	3.0～5.0	5.0～10.0	10.0～20.0	20.0ha以上	例外規定の適用を受けるもの
嬬恋村	506	10	23	35	16	9	15	57	244	86	11	
計	506	10	23	35	16	9	15	57	244	86	11	0
比率(%)	100.0	2.0	4.5	6.9	3.2	1.8	3.0	11.3	48.2	17.0	2.2	0.0

（2020年農林業センサス）　（第7表-2-2）

区分 / 市町村名	1経営体当たり平均農用地面積(ha)						農用地の分散状況		専兼業別農家数(戸)			備考
										兼業		
	田	畑	樹園地	小計	草地	計	1戸当たり団地数	団地当たり面積(ha)	専業	第一種	第二種	
嬬恋村	0.08	6.53	0.10	6.71	—	6.71	—	—	350	15	106	
計(平均)	0.08	6.53	0.10	6.71	—	6.71	—	—	350	15	106	
比率(%)	1.2%	97.3%	1.5%	100%					74.3%	3.2%	22.5%	

３．動力農機具及び主要家畜頭数

（令和6年10月現在）　（資料：農林業センサス）　（第7表-3）

項目 / 市町村名	動力農機具								主要家畜						備考
	動力耕運機 乗用トラクター		田植機		動力防除機		自脱型 コンバイン		乳用牛		肉用牛		豚		
	数量（台）	戸数（戸）	数量（台）	戸数（戸）	数量（台）	戸数（戸）	数量（台）	戸数（戸）	数量（頭）	戸数（戸）	数量（頭）	戸数（戸）	数量（頭）	戸数（戸）	
嬬恋村	2,040	523	68	63	—	—	35	34	709	9	—	17	—	—	
計	2,040	523	68	63	—	—	35	34	709	9	—	17	—	—	
100戸当たり数量（台，頭）	352		12		—		6		122		—		—		農家戸数 580 戸
利用戸数割合（%）	90.2%		10.9%		—		5.9%		1.6%		2.9%		—		

資料：2020農林センサスでは記載がないため下記により記載する。

2015農林センサス（22）農業用機械を所有している経営体数と所有台数

2015農林センサス 販売目的の家畜等を飼養している経営体数と飼養頭羽数

4．主要作物作付状況

（令和6年10月現在）　（資料：2020年農林業センサス）　（第7表-4）

市町村名			嬬恋村						計	平均	作付率(%)	備考
総農用地面積(ha)			3,374						3,374			
総本地面積(ha)(96%)			3,239						3,239			
作物名		区分	作付面積(ha)	単位面積当たり収量(kg/10a)	作付面積(ha)	単位面積当たり収量(kg/10a)	作付面積(ha)	単位面積当たり収量(kg/10a)	作付面積(ha)	単位面積当たり収量(kg/10a)		
田	表作	水稲・他	43	488					43	488	1.3	(水稲)
	裏作	麦類・他										
	小計		43						43		1.3	
畑	春夏作	工芸作物										
		果菜類	3,070	7,366					3,070	7,366	91.0	(キャベツ)
	秋冬作	葉菜類	23	3,650					23	3,650	0.7	(はくさい)
	小計		3,093						3,093		91.7	
樹園地	果樹											
	桑・飼肥料作物等											
計			3,136						3,136		93.0	
市町村別延べ作付率(%)			93%						93%			

単当たり収量：統計年鑑（令和5年）

5．農業の動向　　嬬恋村

（令和6年10月現在）　　（第7表-5）

区分＼項目	農家			土地			主要作物			家畜			動力農機具			備考
	C	B	A	C	B	A	作物名 C	B	A	家畜名 C	B	A	農機具名 C	B	A	
変化の状況 C年を100とする指数	総農家数	92	85	耕地	101	97	水稲	83	250	乳用牛	88	95	ﾄﾗｸﾀｰ	96	98	A：平成27年（2015年農業ｾﾝｻｽ） B：平成22年（2010年農業ｾﾝｻｽ） C：平成17年（2005年農業ｾﾝｻｽ） 2020農林業センサスでは統計がないため上記において検討した。
	専業農家数	176	176	田	89	77	キャベツ	—	105	肉用牛	88	—	田植機	76	61	
	一種兼農家数	32	26	畑	100	97	はくさい	—	84	豚			自脱型ｺﾝﾊﾞｲﾝ	77	56	
	二種兼農家数	82	61	樹園地	100	220	ばれいしょ	62	36							
	農業従事者数	95	85													
変化の理由	都市化による他産業への労働力の流動			都市化による開発、水田面積の減少			畑作物の振興と営農改善			営農改善			労力の減少に伴う機械化省力営農の定着			
地域指定等				・酪農肉用牛生産近代化計画　H28.3 ・嬬恋農業振興地域整備計画　S49.4.8 ・農振指定　S47.12.26 ・振興山村地域　S47.2.3						・過疎地域　H22.4.1 ・豪雪地域　S38.10.30 ・野菜指定産地（夏秋キャベツ）　S41.8.18 ・野菜指定産地（夏はくさい）　S41.8.18 ・野菜指定産地（夏秋レタス）　S44.8.6						

第６節　地域環境の概況

本地区は吾妻郡嬬恋村の南東地域に位置する地区面積31.1haの畑地帯である。
村内を流れる河川は一級河川吾妻川を本流とする中小河川が多数あり、地区周辺では一級河川湯尻川が南から北へ流下している。
本村は、北に本白根山、西に四阿山、南に浅間山という名山に囲まれており、これらの山々は緑あふれる自然とともに、雄大で美しい自然環境を形成している。また、一面に広がる広大なキャベツ畑の景観も特徴的であり、訪れる人々に強い印象をを与える。そのほかにも、レンゲツツジやシャクナゲなどの多様な植物が彩を加え、四季折々の田園風景を作り出している。
この地域を代表する植物種は天然カラマツであり、万座方面や浅間方面に多くみられる。また、湯ノ丸山レンゲツツジ群落は国指定天然記念物に成、鳴尾の熊野神社大杉は県指定天然記念物に指定されている。
動物では、ヤマネ、ニホンカモシカ、クロサンショウウオ、ハコネサンショウウオ、カジカ、タガメなどの貴重な動物等が多く確認されている。

第４章　一般計画

第１節　事業計画の要旨

１．要　旨

この地域は、群馬県の西北部の嬬恋村に位置する畑地農業地帯で、道路は狭小であり、営農効率の低下や農産物の輸送に支障を来している。

また、排水路は未整備であり、堆砂による排水機能の低下や、流下能力を超える排水により農地等への溢水被害が発生している。

このため、農道や排水路施設などの総合的な農業基盤整備を実施し、生産性の向上と担い手農家の安定経営・農地集積を支援し地域農業の振興を図る。

このため、農道や排水路施設などの総合的な農業基盤整備を実施し、生産性の向上と担い手農家の安定経営・農地集積を支援し地域農業の振興を図る。

なお、農業用道路事業、農業用用排水路事業及び区画整理事業は、法に定める要件に適合するため一体事業として施行する。

２．事業別面積

（第8表）

事業名 ＼ 土地利用区分 ＼ 事業目的	農業用道路・農業用用排水					区画整理					計	備考
	水田 (ha)	普通畑 (ha)	樹園地 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	水田 (ha)	普通畑 (ha)	樹園地 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	(ha)	
農業用道路	—	30.1	—	1.0	31.1						31.1	登記簿面積
農業用用排水	—	30.1	—	1.0	31.1						31.1	〃
区画整理						—	6.4	—	0.3	6.7	6.7	〃
計	—	30.0	—	1.0	31.0	—	—	—	0.3	0.3	31.3	区画整理内現況道路分をその他に加える

第２節　営農計画及び土地利用計画

１．営農計画の概要

本地区の営農計画は、担い手農家を中心に集団的な営農体系として、一大ブランドであるキャベツの効率的な栽培、品質向上および安定供給を図るため、道・排水路整備、区画整理により大型機械を導入し、労働時間の短縮・コスト低減を実現し、生産性の向上と農業経営の効率化を図る。

２．土地利用区分

（第9表-1）

事業名	区分／項目	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	桑　園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
道路	農業用 現　況	－	31.1	－	－	－	－	31.1	－	－	－	31.1	
	計　画	－	30.1	－	－	－	1.0	31.1	－	－	－	31.1	
用排水	農業用 現　況	－	31.1	－	－	－	－	31.1	－	－	－	31.1	
	計　画	－	30.1	－	－	－	1.0	31.1	－	－	－	31.1	
整理	区画 現　況	－	6.5	－	－	－	0.2	6.7	－	－	－	6.7	
	計　画	－	6.4	－	－	－	0.3	6.7	－	－	－	6.7	
計	現　況	－	31.1	－	－	－	0.2	31.3	－	－	－	31.3	
	計　画	－	30.0	－	－	－	1.3	31.3	－	－	－	31.3	

3．作付方式

(第9表-2)

事業名	項目	経営類型	土地利用区分	1年目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	2年目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	備考
農業用道路・農業用用排水・区画整理	現況	キャベツ専業	普通畑		キャベツ				キャベツ								キャベツ				キャベツ							
	計画	キャベツ専業	普通畑		キャベツ				キャベツ								キャベツ				キャベツ							

4．生産計画

(第9表-3)

事業名	項目 / 土地利用区分		作物名	作付面積(ha) 現況	作付面積(ha) 計画	作付率(%) 現況	作付率(%) 計画	単位面積当たり収量(kg/10a) 現況	単位面積当たり収量(kg/10a) 計画	生産量(t) 現況	生産量(t) 計画	生産量(t) 増減	同左生産量増減の内訳(t) 面積増減	同左生産量増減の内訳(t) 単位面積当たり収量増減	備考
農業用道路・農業用用排水・区画整理	普通畑	表作													
			ｷｬﾍﾞﾂ	29.9	29.2	100	100	7,417	7,424	2,217.7	2,167.8	△ 49.9	△ 0.7		
			計	29.9	29.2	100	100			2,217.7	2,167.8	△ 49.9	△ 0.7		
		裏作													
			ｷｬﾍﾞﾂ	1.5	14.6	5	50	7,417	7,424	111.3	1,083.9	972.6	13.1		
			計	1.5	14.6	5	50			111.3	1,083.9	972.6	13.1		
	樹園地	表作													
合計				31.4	43.8	105	150			2,329.0	3,251.7	922.7	12.4		

5．労働改善計画

(第9表-4)

事業名	項目 / 土地利用区分	作物名	作付面積(ha)	単位面積当たり労働投下量(hr/ha)				備考
				区分	現況	計画	増減	
区画整理	畑	キャベツ(大型)	9.3	人力	642.31	478.85	△ 163.46	中型機械化体系 ↓ 大型機械化体系
				機械力	155.75	102.30	△ 53.45	
				人力				
				機械力				
				人力				
				機械力				
				人力				
				機械力				
				人力				
				機械力				
				人力				
				機械力				
				人力				
				機械力				
		計	9.3					

6．級地別土地利用区分

該当無し

7．土地配分計画

該当無し

第３節　用水計画

該当無し

第４節　排水計画

１．計画基準雨量

「群馬県農政部確率雨量計算システム」・・・令和３年２月
1/10年確率雨量を適用

（１）　短時間降雨強度式・・・・$I=3525.1/(T+29.7)$

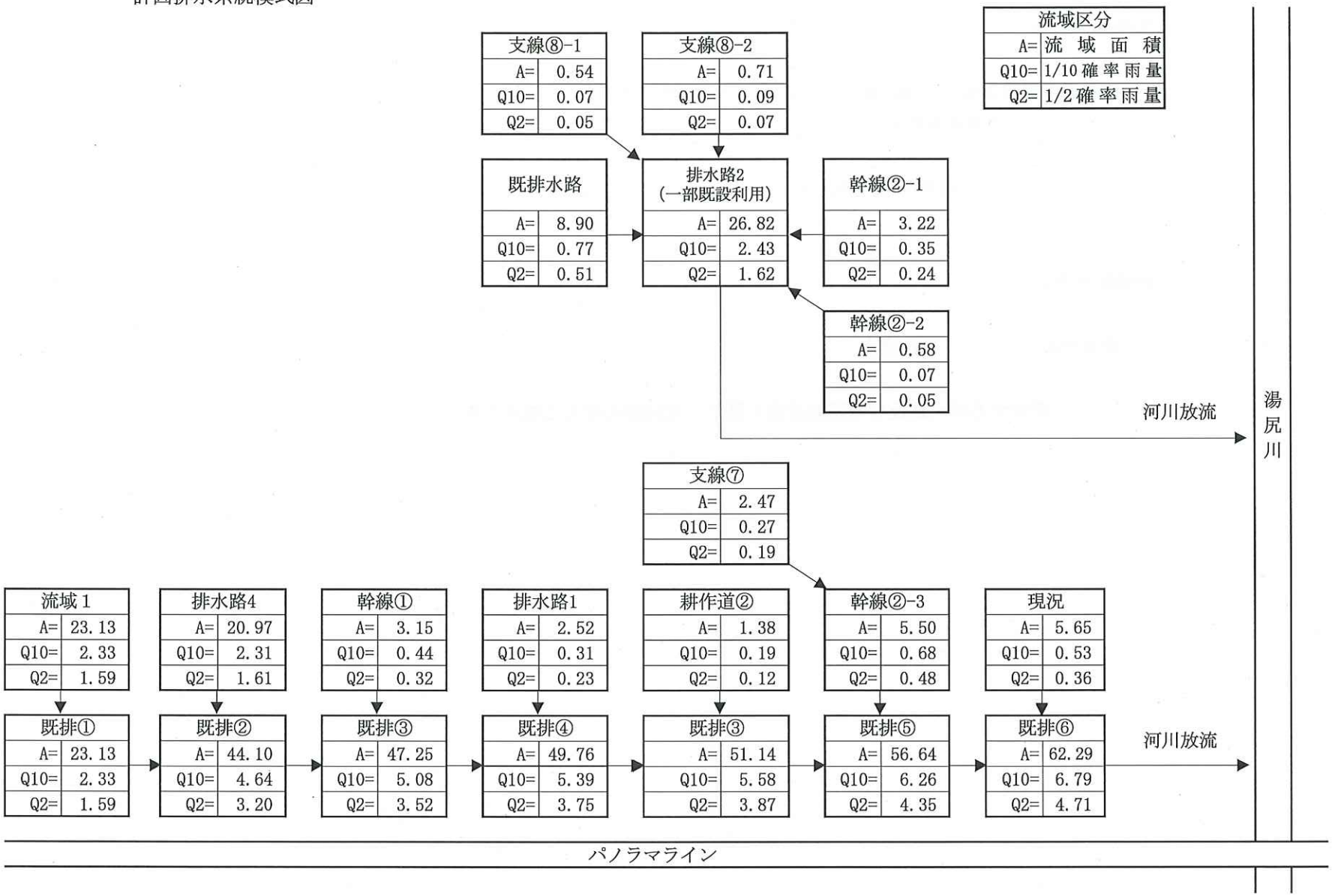
２．計画排水方式

排水方式・・・・・自然排水

新設する排水路及び水路兼道路を経て、現況排水流末に導水する。

3．計画排水系統

計画排水系統模式図



4．計画排水量

(第11表-1)

項目 / 排水系統名	受益面積(ha) 事業名 農業用用排水	流域面積 (km²)	基準雨量 (mm)	降雨による直接単位流出量 (m³/s/km²)	基底出量 (m³/s/km²)	全排出量 (m³/s) 自然排水	全排出量 (m³/s) 機械排水	単位排水量 (m³/s/km²)	備考
末端排水	5.2	0.27	49.13～98.96	9.00		2.430		9.00	
〃	24.9	0.62		10.95		6.790		10.95	
計	30.1	0.89				9.220			

5．排水対策

(1) 排水水門

該当なし

(2) 排水機

該当なし

(3) 排水路

(第11表-4)

項目 / 名称	流域面積 (km²)	受益面積(ha) 事業名 農業用用排水	計画排水量 (m³/s)	延長 (m)	構造	排水本川 名称	排水本川 計画洪水量 (m³/s)	排水本川 計画洪水位 (m)	備考
排水路①	0.03	30.1	0.31	330	U字溝400	湯尻川			(区画整理内)
排水路②	0.27		2.43	60	U字溝800～1000	〃			(一部改修)
排水路④	0.21		2.31	638	U字溝1000×800	〃			
幹線道路①	0.03		0.44	732	水兼農道W=6.0	〃			
幹線道路②-1、2	0.04		0.42	298	水兼農道W=6.0	〃			
幹線道路②-3	0.06		0.68	579	水兼農道W=6.0	〃			
支線道路⑧	0.01		0.16	204	水兼農道W=4.0	〃			
支線道路⑦	0.02		0.27	141	水兼農道W=4.0	〃			(区画整理内)
耕作道路②	0.01		0.19	83	水兼農道W=3.0	〃			(区画整理内)
計	0.67	30.1		3,065					

(4)　その他

沈砂池　　１箇所

６．たん水検討

該当なし

第５節　道路計画

１．道路及び索道

(1)　道　路

(第12表-1)

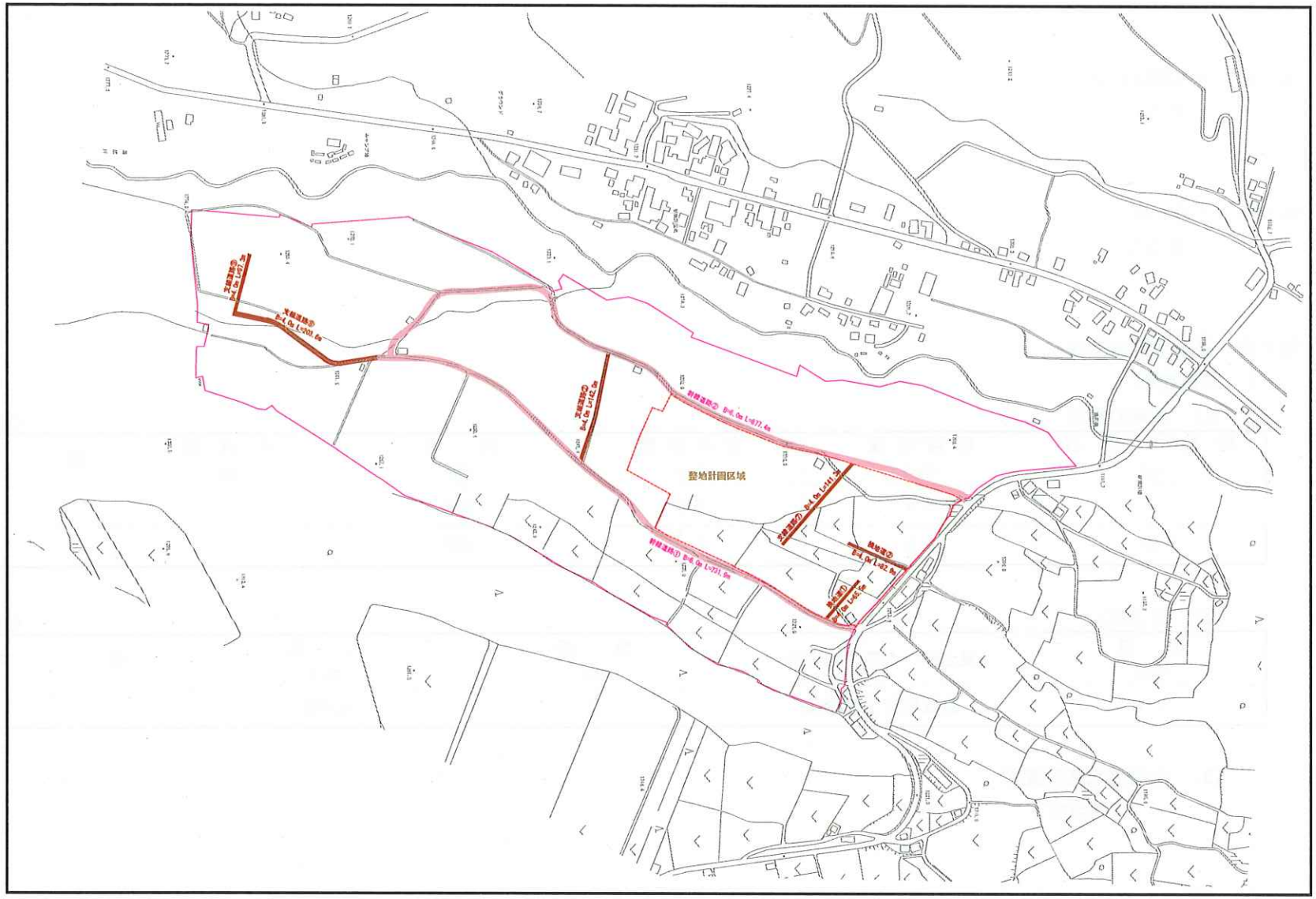
項目 / 路線名	幅(有効)　×　延長 (m)　　(m)	構　　造	既設道路との関係	備　　考
幹線道路①、②	6.0(5.0)　×　1,609	アスファルト舗装		
支線道路②、⑦、⑧、⑨	4.0(3.0)　×　566	アスファルト舗装		
耕作道路①、②	3.0(2.0)×149	アスファルト舗装		
計	2,324.0			

(2)　索　道

該当なし

２．路線配置図

路線配置図模式図



第６節　農用地造成計画

該当なし

第７節　洪水調節計画

該当なし

第８節　干拓計画

該当なし

第９節　農用地整備計画

１．区画整理

(1)　区画の形状

(第16表-1)

長　辺　×　短　辺 (m)	区 画 面 積 (ha)	全 体 面 積 (ha)	割　　合 (%)	田　面　差 (m)	備　　考
	6.4	6.4	100	―	
計	6.4	6.4	100		

(2)　表土扱い

(第16表-2)

面　積 (ha)	表土扱いの要否の理由	扱 い 深 (cm)	土　量 (m^3)	備　　考
2.4	良質耕作土の確保	25	6,000	

(3)　末端道水路配置図

該当なし

２．暗渠排水

該当なし

３．客　土

該当なし

４．農地保全

該当なし

第１０節　老朽ため池改修計画

該当なし

第５章　主要工事計画

第１節　用水施設

該当なし

第２節　排水施設

１．排水水門

該当なし

２．排水機

該当なし

３．排水路

(第18表-3)

項目 / 水路名	受益面積(ha) 事業名 農業用用排水	排水量 (m^3/s)	延長 (m) 開きょ	延長 (m) ﾄﾝﾈﾙ・その他	延長 (m) 計	構造	勾配	主要構造物	備考
排水路①	30.1	0.31	330		330	U型水路	1/10～1/18	U-400×400	(区画整理内)
排水路②		2.43	60		60	U型水路	1/30～1/39	U-800～1000	
排水路④		2.31	638		638	U型水路	1/11～1/17	U-1000×800	
幹線道路①		0.44	732		732	水兼農道W=6.0m	1/11～1/37	水路兼側壁	
幹線道路②-1,2		0.42	298		298	水兼農道W=6.0m	1/10～1/50	水路兼側壁	
幹線道路②-3		0.68	579		579	水兼農道W=6.0m	1/10～1/51	水路兼側壁	
支線道路⑧		0.16	204		204	水兼農道W=4.0m	1/16	水路兼側壁	
支線道路⑦		0.27	141		141	水兼農道W=4.0m	1/12～1/67	水路兼側壁	(区画整理内)
耕作道路②		0.19	83		83	水兼農道W=3.0m	1/19	水路兼側壁	(区画整理内)
計	30.1		3,065		3,065				

４．その他排水施設

(第18表-4)

名称	位置	形式	計画堆砂量 (m^3)	計画洪水量 (m^3)	構造 高さ (m)	構造 延長 (m)	構造 放流施設	備考
沈砂池①	排水路④流末	沈砂池	91		1.0	14.0×13.0	U600*600	

第３節　道路および索道

１．道　路

(1)　道路の総括表

(第19表-1)

区分＼項目	路線名	幅(有効)(m)×延長(m)	構造	附帯構造物			最急こう配(%)	同左の延長(m)	最小曲線半径(m)	備考
				名称	構造	数量(箇所)				
支線道路	幹線道路①	6.0(5.0)×732	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装表層4cm	流末処理工	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ側溝	１箇所	9.4			
〃	幹線道路②	6.0(5.0)×877	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装表層4cm	流末処理工	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ側溝	１箇所	9.8			
〃	支線道路②	4.0(3.0)×142	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装表層4cm				3.0			
〃	支線道路⑦	4.0(3.0)×141	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装表層4cm				3.5			(区画整理内)
〃	支線道路⑧	4.0(3.0)×204	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装表層4cm	流末処理工	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ側溝	１箇所	5.0			
〃	支線道路⑨	4.0(3.0)×79	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装表層5cm				2.0			
〃	耕作道路①	3.0(2.0)×66	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装表層5cm				5.5			(区画整理内)
〃	耕作道路②	3.0(2.0)×83	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装表層5cm				5.4			(区画整理内)
計	８路線	2,324.0								

(2)　道路主要構造物

該当なし

２．索　道

該当なし

第４節　農用地造成

該当なし

第５節　洪水調節施設

該当なし

第６節　干拓施設

該当なし

第７節　農用地整備施設

１．区画整理

(第23表-1)

区　分	全体面積 (ha)	整　地　工		表　土　扱　い		備　考
		標準区画	土　量 (m³)	面　積 (ha)	土　量 (m³)	
畑	6.4		13,000	2.4	6,000	
計	6.4		13,000	2.4	6,000	

２．暗渠排水

該当なし

３．客　土

該当なし

４．除　礫

該当なし

５．農地保全

該当なし

第８節　老朽ため池改修施設

該当なし

第６章　付帯工事計画

該当無し

第７章　工事の着手及び完了の予定時期

着　手　　令和４年度
完　了　　令和１０年度

第８章　環境との調和についての配慮

第１節　環境との調和への配慮の方針

本地区では、自然と調和を図るため、地区内に有する生態系に配慮した排水路等の整備を行い、多種多用な生物が生息可能な空間の維持・回復を目的として、 生態系に配慮した環境整備を行う。

第２節　環境との調和への配慮に伴う配慮内容

本地区では、下記の通り生態系に配慮した整備を行う。

施設の種類	整備内容及び規模	備考
１．生態系ネットワーク	田園環境整備マスタープランに基づく環境配慮区域を含むため、貴重な動植物を施行区域で発見したら近くに移植する。 また、生態系の連続性を考慮して、地区内の法面には構造物を極力設けないものとし、植生として生態系に配慮した緑のネットワーク化を図る。	
２．法面緑化	生物の往来を考慮し、地区内の法面には極力構造物を設けず緑化する。	

第９章　換地計画の概要

第１節　換地計画を作成する上での基本的な考え方

区画整理を実施し、農用地の区画形質・勾配の改善、道路及び排水路の整備による農業構造の改善と生産性の向上により農業経済の安定化を図るものとする。

第２節　換地区の設定

１．換地区の名称、所在、地積

（第25表-1）

換　地　区　名	換　地　区　の　所　在	地　積　(ha)	備　　考
設定なし	群馬県　吾妻郡　嬬恋村　大字田代	6.7	

２．換地区を設定しない理由

当地区は、受益地域が１団地を形成しているため換地区の設定はしない。

第３節　換地計画樹立の基本方針

１．従前の土地の地積の基準

（第25表-2）

換　地　区　名	地　　積　　の　　基　　準	備　　考
設定なし	換地交付の基準とする従前の土地の地積は、この土地改良事業の計画の概要を公告した日の土地登記簿地積とする。 ただし、公告の日から１ヶ月以内に測量士等が測量した実測図及び隣接する土地の所有者の同意書を添付して申し出た場合はその地積とする。	

2．用途別予定地積

（単位：ha）　（第25表-3）

換地区名	用途 前後	農用地						道路水路等											非農用地												合計
		一般農用地				創設農用地	計	機能交換に係る土地				通常事業施行地に含める土地			創設土地改良施設用地			計	農用地利用計画地	特定用途用地			一般国公有地	異種目換地	創設非農用地					計	
		田	畑	草地	小計			国	県	市町村他	小計	土地改良施設	がけ・やぶ等	小計	土地改良区	その他	小計			宅地	その他	小計			農業経営合理化施設(1)	生活経営上必要な施設(2)	公用公共用施設用地(3)	宅地等	小計		
設定なし	従前の土地	－	6.5	－	6.5		6.5	－	－	0.2	0.2	－	－	－				0.2	－	－	－	0.0	－							0.0	6.7
	換地	－	6.4	－	6.4	－	6.4	－	－	0.3	0.3	－	－	－	－	－	－	0.3		－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	－	0.0	6.7
	従前の土地																														
	換地																														
	従前の土地																														
	換地																														
合計	従前の土地	－	6.5	－	6.5		6.5	－	－	0.2	0.2	－	－	－				0.2	－	－	－	0.0	－							0.0	6.7
	換地	－	6.4	－	6.4	－	6.4	－	－	0.3	0.3	－	－	－	－	－	－	0.3		－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	－	0.0	6.7

3．農用地集団化の方針

(第25表-4)

区分 換地区名	地帯別、グループ別 団地の設定	個　人　別　換　地　の　方　法		
		位置の選択方法	1戸当たり 目標団地数	区画畦畔の取り扱い
設定なし	設定なし	耕作者の従前地を密集した位置を中心に換地	概ね1団地	移動区画

4．非農用地換地の方法

(第25表-5-1)

換地区名	用　途	非農用地区域の位置の概要	地　積（ha）	換地の手法	換地取得予定者	最終取得予定者
設定なし	なし	－	－	－	－	－

5．創設土地改良施設用地換地の方法

該当なし

第4節　土地の評価及び清算の方法

1．評価の方法

標準地比準方式による。

2．清算の方法

増価額比例地積清算方式とする。

第５節　換地計画樹立の年度計画

（第25表-6）

区分 換地区名	一時利用地の指定予定年度	換地計画決定の予定年度	換地処分予定年度	備　　考
設定なし	令和９年度	令和１０年度	令和１０年度	

第６節　換地処分の時期に関する特例

当地区は、区画変更工事が完了し、確定測量が行われたときは、法第89条の2第10項で準用する同法第54条第2項本文の規定にかかわらず工事完了公告前に換地処分を行うことができるものとする。

第１０章　事業費の総額及び内訳

（単位：千円）　（第26表）

事　業　名	農業用道路	農業用用排水	区画整理	計	備　考
工　事　費	110,000	287,000	65,000	462,000	令和３年度単価
主要工事	110,000	287,000	65,000	462,000	
付帯工事	—	—	—	—	
用地買収補償費	11,000	4,000	0	15,000	
測量設計費	62,000	46,000	14,000	122,000	
換　地　費	—	—	11,000	11,000	
事　務　費	9,150	16,850	4,500	30,500	
計	192,150	353,850	94,500	640,500	

第１１章　効　用

農業用道路

区　　分	年増加見込効果額　(千円)	年増加見込所得額　(千円)	備　　考
品質向上効果	6,162	6,162	効果算定年度　令和６年度
維持管理節減効果	△ 500	△ 500	
走行経費節減効果	7,040	7,040	
計	12,702	12,702	

(参考)　総費用（現在価値化）　233,179 千円

総便益額（現在価値化）　252,951 千円　総費用総便益比　1.08

農業用用排水

区　　分	年増加見込効果額　(千円)	年増加見込所得額　(千円)	備　　考
作物生産効果	10,331	21,797	効果算定年度　令和６年度
維持管理節減効果	229	229	
災害防止効果	2,144		
国産農産物安定供給効果	3,677		
計	16,381	22,026	

(参考)　総費用（現在価値化）　318,605 千円

総便益額（現在価値化）　318,733 千円　総費用総便益比　1.00

区画整理

区　　分	年増加見込効果額　(千円)	年増加見込所得額　(千円)	備　　考
作物生産効果	9,341	9,239	効果算定年度　令和６年度
営農経費節減効果	1,843	1,843	
国産農産物安定供給効果	534		
計	11,718	11,082	

(参考)　総費用（現在価値化）　75,608 千円

総便益額（現在価値化）　229,522 千円　総費用総便益比　3.03

(参考)

事業全体　総費用（現在価値化）　627,392 千円

総便益額（現在価値化）　801,206 千円　総費用総便益比　1.27

第１２章　関連する事業

該当無し

第１３章　現況・計画図面

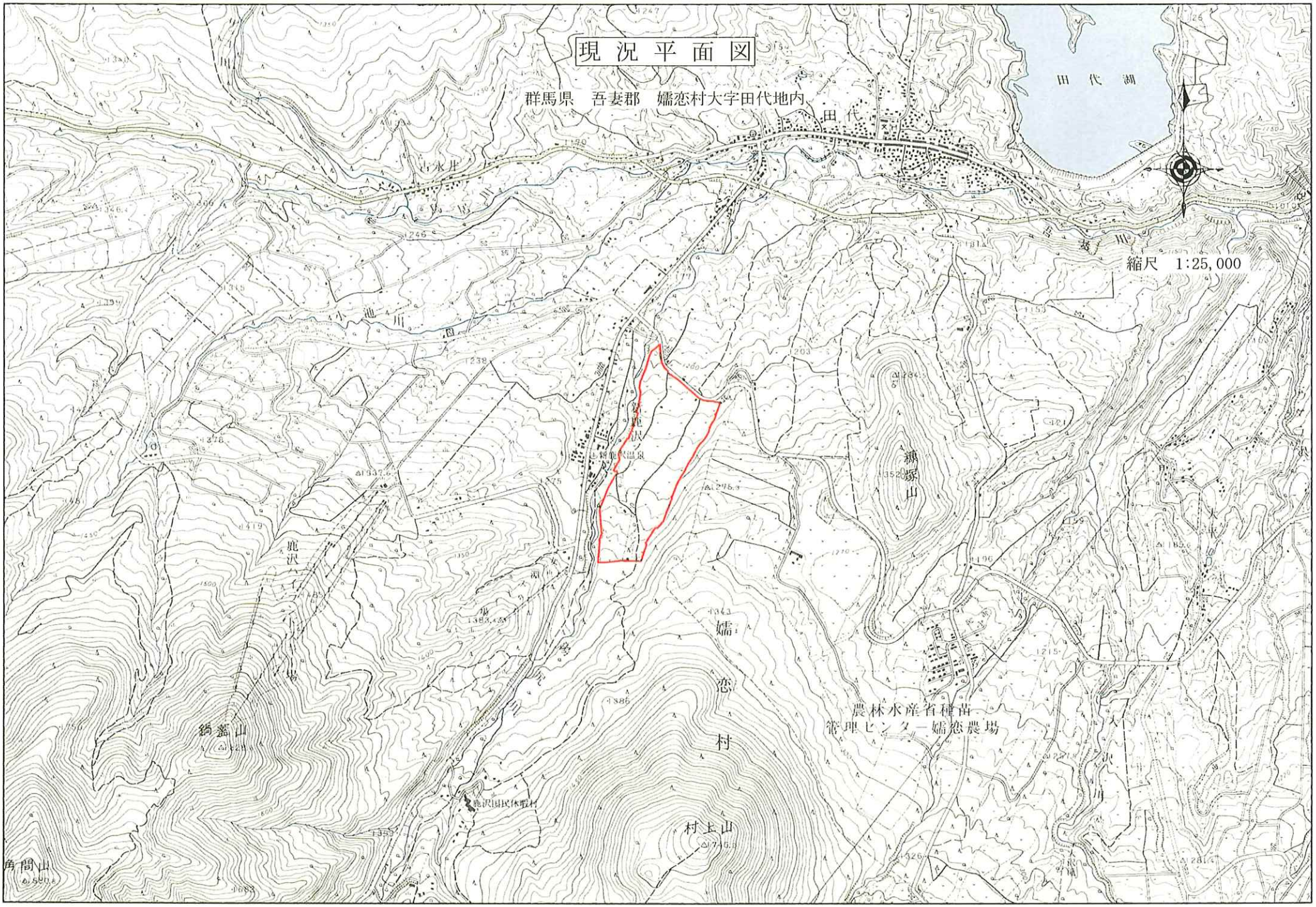
１．現況平面図 …… 別添

２．計画平面図及び土地利用計画図 …… 別添

３．主要構造図 …… 別添

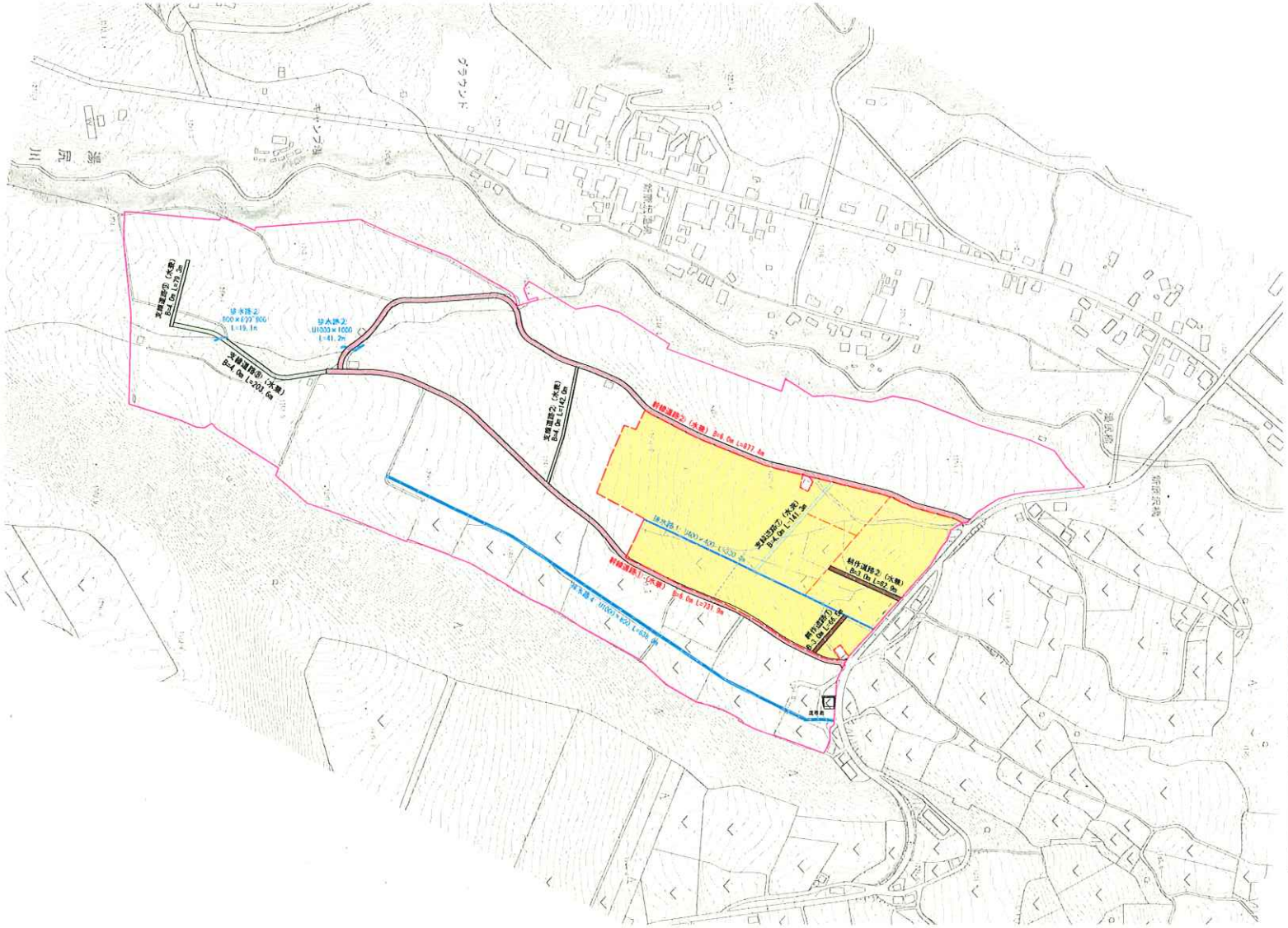
現況平面図

群馬県　吾妻郡　嬬恋村大字田代地内



計画平面図及び土地利用計画図

S=1/2,500(A1)
S=1/5,000(A3)



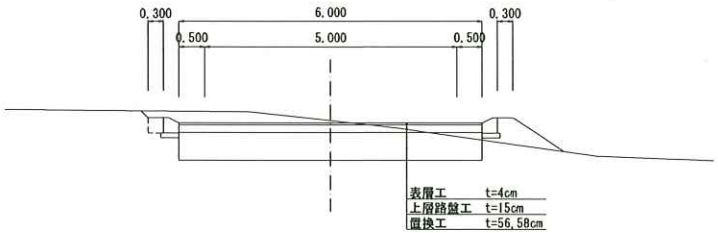
凡例	
	幹線道路
	支線道路
	耕作道路
	計画排水路
	区画整理区域
	事業区域

事業概要		
受益面積		A=30.1ha
概算事業費		640,500千円
主要工事	整地工	A=6.4ha
	道路工	L=2.0km
	排水路工	L=0.7km
	沈砂池工	N=1箇所
事業主体		群馬県

標準断面図

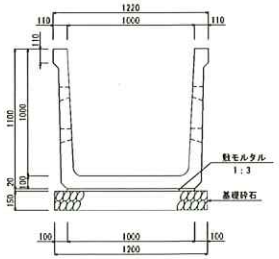
縮尺 1/50

水路兼用道路
幹線道路 B=6.0m



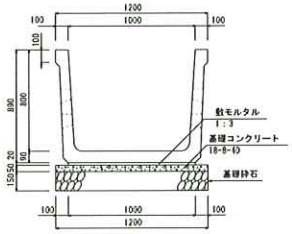
排水路工

B1000-H1000 (1323kg)



排水路工

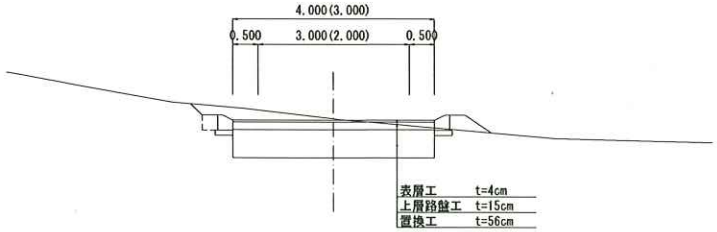
B1000-H800 (1041kg)



標準断面図

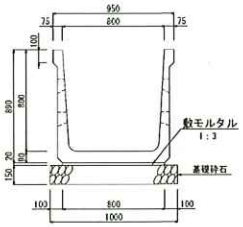
縮尺 1/50

水路兼用道路
支線（耕作）道路 B=4.0m



排水路工

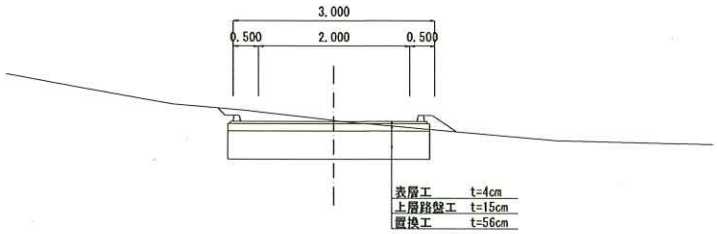
B800-H800 (918kg)



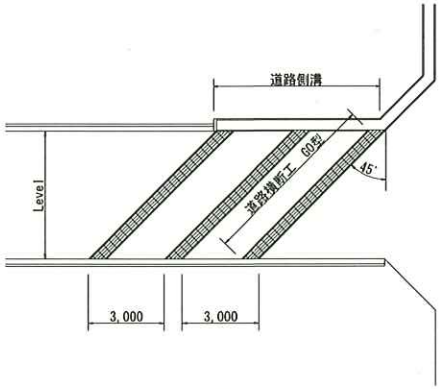
標準断面図

縮尺 1/50

道路工As舗装
耕作道路 B=3.0m



水路兼用道路流末処理工



注） この配置図は標準的な配置を示したもので
各設置場所に応じて配置を行うこと。
道路横断工G0型のｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞは道路幅
全てについて行うこと。隅の斜の部分は
車両等の交通に安全な施工を行うこと。

主 要 構 造 図